

習志野第九演奏会

第43回

ベートーヴェン 作曲

フィデリオ序曲 作品72
交響曲第九番ニ短調 作品125 「合唱付」

県民芸術劇場公演

管弦楽 千葉交響楽団
合唱 習志野第九合唱団

指揮 岩村 力



コロナ禍を乗り越え響かせる
これぞ習志野の、歓喜の歌。



ソプラノ
別府 美沙子



メゾソプラノ
小林 紗季子



テノール
澤崎 一了



バリトン
原田 圭

合唱指導 神尾 昇
練習ピアニスト 正住 真智子

コロナ感染症
対策のお願い

- ◆マスクを着用されない場合は入場できません。
- ◆プラボー等の声を出しての声援はできません。
- ◆発熱等、体調が優れない方のご来場はお控えください。

2021年 12月26日(日) 習志野文化ホール

午後1時15分開場 午後2時開演

1時45分から指揮者による
プレトークがあります。

※未就学児は入場をお断りします。

(JR津田沼駅南口)

※車いすペア券は12/25(土)迄に習志野文化ホールへご予約ください。

入場料【全席指定】 A席 3,500円 B席 3,000円 車いすペア券 6,000円

習志野文化ホール ☎047-479-1212 〒275-0026 習志野市谷津1-16-1
11月14日(日) 午前10:00より窓口販売開始 ※発売日の電話予約は14:00より

簡単便利!オンラインチケット販売

習志野第九 パスマーケット 検索

- 主催：NPO法人 習志野第九合唱団/千葉県
- 共催：(公財) 習志野文化ホール/習志野市芸術文化協会
- 後援：習志野市教育委員会/ドイツ連邦共和国大使館/千葉県日独協会/習志野市音楽協会/全日本「第九を歌う会」連合会
- お問合せ：習志野第九合唱団 海老原 ☎080-9800-5612 (8時~18時)

[NPO法人習志野第九合唱団ホームページ] <http://narashino-dai9.org>



日独交流160周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan

● 岩村 力 (Chikara IWAMURA / 指揮)

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。黒岩英臣、飯守泰次郎、小澤征爾、R・シューマッヒャーの各氏に師事。マスタープレイヤー指揮者コンクール優勝、グゼッラ国際指揮者コンクール第2位など数多くのコンクールに入賞。95年・97年フェラーラ市立歌劇場の招待を受け、クラウディオ・アバド氏のもとで研鑽を積む。またシャルル・デュトワ、チョン・ミョンフン、ジャン・フルネ、イヴァン・フィッシャーなどのアシスタントを数多くつとめた。01年以降は、ザグレブ国際現代音楽祭、ザグレブ・フィル、バーリ響、NHK交響楽団定期演奏会への出演、アルゲリッチの要請によりイタリア / コルティナにてパドヴァ室内管と共演するなど、国際的に活躍の場を広げている。また、11年以降は関西フィル、兵庫芸文管、東京シティ・フィル、仙台フィルの各定期演奏会にて日本人作曲家の作品を取り上げ、高い評価を得る。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。

● 別府 美沙子 (Misako BEPPU / ソプラノ)

東京音楽大学声楽専攻声楽演奏コース卒業、同大学院声楽専攻オペラ研究領域を修了。第14回大阪国際音楽コンクール声楽部門 Age-G オペラコース3位。第5回 Lissone 音楽コンクール(イタリア)第2位。第4回浜松交響楽団ソリストオーディション第1位受賞。第46回イタリア声楽コンクールソシエナ部門入選。第53回日伊声楽コンクール入選。イタリア・ミラノ留学中、バンディーノ市「リゴレット」ジルダ役、ヴィメルカーテ市「セビリアの理髪師」ロジーナ役でデビューし高い評価を得る。2021年日本オペラ振興会「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ役では歌唱はもとより舞台姿にも好感がもたれた。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。

● 小林 紗季子 (Sakiko KOBAYASHI / メゾソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻オペラコース首席修了。同大学卒業演奏会、同大学院オペラ『フィガロの結婚』にケルビーノ役で出演。二期会オペラ研修所49期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。二期会主催新人演奏会に出演。新国立劇場オペラ研修所第9期生修了。首我榮子、三林輝夫、セルジオ・ベルトッキ、パトリツィア・モランディーニ各氏に師事。オペラ研修所公演では『アルバート・ヘリング』『フローレンス・バイク』『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『カルメル会修道女の対話』マダム・クロワシー、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラとして出演。文化庁在外研修生として一年渡伊。イタリアのプラートにてオペラ『修道女アルジェリカ』パテッサでイタリアデビュー。新宿アトリエオペラ『カルメン』タイトルロール。サイトウキネンフェスティバル青少年のオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ゲルトルト。小澤征爾音楽塾『ヘンゼルとグレーテル』ゲルトルトカバー、『蝶々夫人』母、『フィガロの結婚』マルチェリーナで出演。東京二期会『バルジファル』花の乙女・アルトの声、同『ホフマン物語』アントニアの母の声等に出演。豊潤で深みのある声をもつ新星として今後の活躍が期待される。二期会マイスター・ジンガーメンバー。二期会会員

● 澤崎 一了 (Kazuaki SAWASAKI / テノール)

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第27期生修了。第53回日伊声楽コンクール第2位及び五十嵐喜芳賞受賞。第2回V.テッラーノヴァ国際声楽コンクール第1位。15年ピントのトラエッタ・オペラフェスティバル「蝶々夫人」ピンカートンにてイタリアデビュー。19年「椿姫」アルフレードで高い評価を得る。これまでに、「リゴレット」マントヴァ公爵、「ボエーム」ロドルフォ、「愛の妙薬」ネモリーノ、「カルメン」ドン・ホセ、「夕鶴」与ひょう等、2021年「清教徒」アルトゥーロ役の活躍は特筆に値する。コンサートでは「第九」、「メサイア」ヴェルディ、モーツァルト「レクイエム」等で活躍をしている。藤原歌劇団団員。立教池袋中学・高等学校講師。

● 原田 圭 (Kei HARADA / バリトン)

東京藝術大学卒業。同大学院修士及び博士後期課程修了。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位受賞、併せて中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。オペラでは新国立劇場『黒船』ほか、『フィガロの結婚』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『魔笛』パパゲーノ、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『道化師』シルヴィオ、『カルメル会修道女の対話』ド・ラ・フォルス侯爵、『ロング・クリスマス・ディナー』ロードリック、『ファルスタッフ』、『金盃親父恋達引』、『卒塔婆小町』、『サテュリコン』(日本初演)に出演。近年では東京二期会<三部作>『ジャンニ・スキッキ』ベットに出演するなど数々の舞台で活躍。日本オペラへの貢献には特筆すべきものがあり、三善晃作曲『遠い帆』、間宮芳生作曲『ニオンザル・スキトオリメ』等で絶賛を博している。コンサートにおいても、パッサリ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、石井真木「紋首台の歌」、千住明「万葉集」等多数出演するほか、ブラハ国立歌劇場特別演奏会「レクイエム」(モーツァルト)にソリストとして共演し高い評価を得ている。二期会会員

● 千葉交響楽団 (Chiba Symphony Orchestra / 管弦楽)

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぎ、2016年10月に千葉交響楽団と改称した。定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ20回のコンサートを行い、千葉県の音楽文化の向上に努めている。また、次代を担う子どもたちに向けては、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小中高等学校音楽鑑賞教室」を毎年50校ほど実施するとともに、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏や各種室内楽など、あわせて年間およそ150回のコンサートを行って、音楽の素晴らしさを伝え続けている。2016年4月に音楽監督として山下一史氏を招聘し新たな挑戦を始め、新鮮で熱気あふれる演奏は、多くの千葉県民の皆様から支持を得ており、「おらがまちのオーケストラ」と親しまれ、愛されるオーケストラとしての地位を着実に築いている。

● 神尾 昇 (Noboru KAMIO / 合唱指導)

香川県小豆島出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学指揮科に再入学、首席で卒業。声楽を鈴木寛一氏、指揮を故佐藤功太郎氏に師事。同大学では、新設された奏楽堂にて初の卒業式を記念する、オペレッタ「こうもり」の総監督を務めた。コンサート指揮者としては、これまでに東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートの指揮、徳島交響楽団、沼津交響楽団、柏交響楽団などのアマチュアオーケストラの指揮、指導など、オペラ指揮者としてはLIP-OPERA、愛媛県民オペラ、芸大オペラプロジェクト、オペラ徳島などの指揮、またこのいくつかの団体では演出も担当。合唱指揮者としては、多くのアマチュア団体の指揮、指導を行っており、2010年1月には杉並公会堂に一堂に会し「第一回神尾合唱祭」を開催した。青年団協議会・全国青年大会合唱部門の審査員。2005年5月から6月にかけてルーマニアで行われた「第一回ベラ・バルトク国際オペラ指揮者コンクール」において、最終ラウンドを待たずして「審査員特別賞」を受賞。受賞者披露のガラ・コンサート、ビゼー作曲オペラ「カルメン」では終幕を指揮し、その模様は国営放送でも放送された。

● 正住 真智子 (Machiko SHOJU / 練習ピアニスト)

兵庫県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経て、同大学院修士課程修了。ピティナ・ピアノコンペティションE級銅賞。全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第3位。大阪国際音楽コンクール Age-H 第3位。市川市文化振興財団新人演奏家コンクール優秀賞。在学中、東京藝術大学内でアリアドネ・ムジカ賞、アカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を受賞。大学院修了時にピアノ演奏優秀者によるジョイントリサイタル出演者に選ばされる。2008年オランダ演奏旅行に派遣され、コンセルトヘボウなどで演奏。2012年迫昭嘉指揮、藝大フィルハーモニーと共演。ブダペスト、東京、神戸、芦屋、姫路、浜松などでのソリストサイタルをはじめ、多くの演奏会に出演。また、アンサンブルピアニストとして多くの演奏家と共演。これまでにピアノを渡辺純子、鳥居知行、芹澤佳司、角裕裕の各氏に師事。2018年度より東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師。2016年度より習志野第九合唱団練習ピアニスト。第41回習志野第九演奏会ではベートーヴェン作曲「合唱幻想曲」のピアノ・ソロで共演、好評を博す。

● 習志野第九合唱団 (Narashino Daiku Chorus / 合唱)

第43回習志野第九演奏会を主催する習志野第九合唱団は、市民公募の合唱団として、昭和53年の習志野文化ホール開館とともに誕生し、以降42年間毎年演奏会を重ねてきたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動停止となり演奏会連続記録は停止となった。例年は習志野市や周辺地域から約300名が参加する大合唱団だが、今年は感染防止対策上の数々の制約から100余名の団員が緊急事態宣言解除後の10月からの短期練習で演奏会を迎える。平成18年にNPO法人となり、市民による芸術・文化の振興、国際交流活動にも力を注いでいるが、昨年度以降のコロナ禍で対外活動は停止中となっている。